

2025年度 都医学研 第7回

都民講座

定員600名

うち対面式100名

先着順

締切日必着

参加費
無料

あなたの 肝臓 大丈夫ですか?

～肝がん撲滅をめざして～

東京都公式アプリ
「東京アブリ」



聴講+アンケートの回答で【東京ポイント100pt】進呈！

【日時】

2026年2月10日（火）
14:30～16:00

【会場】オンライン開催および

東京都医学総合研究所 2階講堂

・京王線 上北沢駅 徒歩12分

・京王線 八幡山駅 徒歩18分

※お車でのご来所はご遠慮ください。

肝がんはどんな人に発症しやすいか？
～肝がんの予防のために知っておくこと～

金沢大学 医薬保健研究域医学系 消化器内科学
准教授 島上哲朗

肝がんは部位別がん死亡者数の第5位であり、主要ながんの1つです。肝がんは初期症状が乏しく「沈黙の臓器」と呼ばれます。その最大のリスクはB型・C型肝炎ウイルスの感染ですが、近年、ウイルス感染のない「脂肪肝」からの発症が急増しています。ウイルス性肝炎は、進歩した「抗ウイルス療法」でウイルスを排除・制御し、がんの発症をかなり高い確率で予防できるようになりました。一方で、飽食や運動不足による脂肪肝は、ウイルス感染がない人にとっても新たな脅威です。本講演では、治療により防げるようにになったウイルス性と、生活習慣改善が鍵となる脂肪肝、それぞれの対策を解説します。正しい知識と検査で、肝がんは予防可能です。

C型肝炎ウイルス研究の過去・現在・未来

東京都医学総合研究所 感染症医学研究センター
免疫制御ユニットリーダー 山根大典

抗ウイルス薬の開発には、ウイルスを実験室内で培養する技術の確立が重要ですが、C型肝炎ウイルスは培養が困難であったため、薬の開発には多くの研究者による長年の苦労がありました。近年、高い治療効果を示す抗ウイルス薬が登場し、治療は大きく進歩した一方、世界的には感染に気づかないケースが多く、感染者数は依然として高い水準で推移しています。また、ウイルス排除後に肝がんを発症する症例が報告されるなど、課題は残されています。本講座では、金沢大学の島上哲朗先生を講師に迎え、現代の肝臓病の傾向と最新の治療法について臨床の観点からお話しㄧただくとともに、私たちが取り組んできたウイルス研究についてもご紹介します。

申込方法

【対面式(都医学研講堂):100名】

※メールの場合

件名に「第7回都民講座（対面式希望）」、本文に「氏名(フリガナ)」「年齢」「電話番号(日中のご連絡先)」「参加希望人数」複数名希望の場合は「同伴者氏名(フリガナ)」「同伴者年齢」を入力の上、tomin@igakuken.or.jpまでお申し込みください。

※往復ハガキの場合

「第7回都民講座申込（対面式希望）」と明記の上、「住所」「氏名(フリガナ)」「年齢」「電話番号」「参加希望人数」複数名希望の場合は「同伴者氏名(フリガナ)」「同伴者年齢」を記入の上、〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 普及広報係宛 までお申し込みください。

【Zoomウェビナー:500名】

https://zoom.us/webinar/register/WN_GfoAn6-aQ9G2SRPPR3pnNg

登録後、確認メールが自動送信されます。確認メールには視聴用URL・注意事項等が記載されていますので、必ず内容をご確認ください。

※ 確認メールが届かない場合は、お手数ですが下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

※ お申し込み1件につき、1つの端末（パソコン・タブレット・スマートフォン等）をご使用ください。

※ Zoomが使用できる端末は各自でご用意ください。

アプリのダウンロードやパソコンの設定については研究所ではご案内できませんので、各自でご準備をお願いいたします。



申込締切 対面式：2026年2月8日(日) Zoom：講座開催時刻